

未来にパワーを。

ノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏が
「リチウムイオン電池と環境問題」をテーマに九州大学で講演。
リチウムイオン二次電池の開発とノーベル賞受賞に至る経緯、
そして持続可能な社会の実現に向けた考えについてお話しいただきます。



九州大学エネルギーウィーク
筑紫シンポジウム

ノーベル化学賞受賞記念

吉野彰 九州大学 特別講演会

九州大学
名誉教授

2020年
1/31 [金]

13:30-15:00 (13:00 開場)

椎木講堂コンサートホール (九州大学伊都キャンパス)

入場無料

要事前申込

Profile

1948年1月30日生まれ。大阪府吹田市出身。
旭化成株式会社名誉フェローで、リチウムイオン
二次電池の発明者の一人として、2019年ノーベル
化学賞、文化勲章を受章。2015年九州大学客
員教授を経て、2018年に九州大学グリーンテク
ノロジー研究教育センターの訪問教授として就任。

【アクセス】※できる限り公共の交通機関をご利用ください。
博多駅・西鉄福岡(天神)駅からは西鉄バス「九大総合グラウンド」行、
九大学研都市駅からは昭和バス「九大総合グラウンド」または「伊都営業所」行、
「九大ビッグオレンジ」または「九大中央図書館」で下車。

【事前のWeb申し込みが必要です】

<https://site2.convention.co.jp/qpit2020/index.html>

※入力情報は各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

※定員になり次第締め切らせていただきます。

